

令和7年度 ねりま協働ラボコラボチャレンジ 審査委員コメント

事業名	練馬産野菜争奪！小学生女子ソフトボール大会～ベジタブルカップ～
実施団体	上北小ソフトボール部
連携団体	あーばんあぐりぱーく石神井台の会

1 協働の工夫・魅力

縮小傾向にある地域スポーツ団体と地域農家の課題をつなげて、双方の魅力を伝える取り組みのアイデアがとても光っていました。

スポーツ団体×生産者団体との連携により、子供にとっては地域の農家や栽培されている野菜を知る食育につながり、生産者にとっては、自分で栽培した野菜を食べる人に直接説明できる良い機会を創出した点は新しく、魅力的です。

2 成果・地域への波及効果

この取り組みにより、子供たちにとっては、野菜を美味しく食べれるなど食育につながり、農家さんにとっては、自慢の野菜を地域の子供に食べていただけることで、モチベーション向上につながる成果につながりました。

「スポーツ×農家」の取組は、ソフトボールだけでなく他の競技団体でも応用が可能で、他団体や他地域に広がる可能性を秘めています。

3 次への期待

スポーツ×農業の取り組みを発展させていくには、子供が収穫だけでなく、種まきなどをすると農家や農作物への想いも強くなっていきます。また、お子様の親も含めて大人も巻き込んでいくとその輪が大きくなっていきます。

今後この取り組みを発展させていくには、ソフトボール部以外の団体にも声をかけて、農家×大スポーツ大会などを実施して、規模を大きくすることが考えられます。農家さんの枠も大きくし、生産者や製造業者なども巻き込んでいくことも考えられます。

4 自由記述

「子供スポーツ×農家」は、お子様の食育と農家さんのモチベーション向上につながる、とても新しく素晴らしい取り組みです。今後は、スポーツ競技団体の輪を広げたり、農家さんの参加者も増やすなどして、そのコミュニティを大きくして行ってください。応援しています。